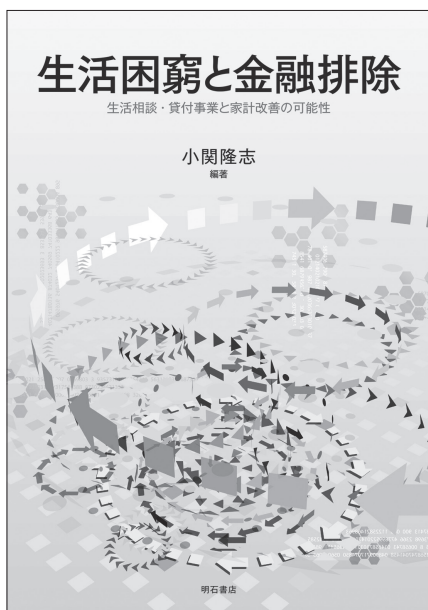




生活困窮と金融排除

生活相談・貸付事業と家計改善の可能性

小関隆志

編著

●定価(本体2,700円+税)

ISBN978-4-7503-5057-8

A5判/上製/216頁

日本の生活困窮者が金融サービスにアクセスできない「金融排除」の問題を、家計を調べる「ファイナンシャル・ダイアリー調査」・インタビュー調査で探るとともに、困窮者への家計相談・貸付事業など現場の取り組みを紹介し、貧困研究に新たな視点を導入する。

◆ 内容構成

第Ⅰ部 研究

第1章 日本の金融排除・金融包摂の動向

[小関隆志(明治大学経営学部 教授)]

第2章 低所得者世帯の金融排除と金融ウェルビーイング

——ファイナンシャル・ダイアリー調査に基づく分析と考察

[角崎洋平(日本福祉大学社会福祉学部 准教授)]

第3章 母子生活支援施設における家計相談支援の可能性

——金融排除の視点から

[佐藤順子(佛教大学福祉教育開発センター 専任講師)]

第4章 社会的不利を抱える人々の金融ケイパビリティに関する論点

——「最低限身に付けるべき金融リテラシー」に着目して

[野田博也(愛知県立大学教育福祉学部 准教授)]

第Ⅱ部 実践報告

第5章 生協制度による貸付事業——信用生協の取り組み

[上田正(消費者信用生活協同組合 生活相談・貸付事業アドバイザー)]

第6章 生活サポート基金による取り組み

[久保田修三(一般社団法人生活サポート基金 代表理事・理事長)]

第7章 生活クラブ千葉グループ・VAIC ミュニティケア研究所 による取り組み

[津田祐子(認定特定非営利活動法人コミュニティケア街ねっと 副理事長)]

第8章 震災被災者の金融排除・金融包摂

——岩手県釜山市を例に

[小関隆志]

第Ⅲ部 資料編

コラム

- 1: 無貯蓄世帯
- 2: 新型コロナウイルス対策
- 3: CFPBと金融ウェルビーイングの調査
- 4: フランスにおける家庭経済ソーシャルワーカーの実践
- 5: 生活困窮者自立支援事業と家計改善支援事業
- 6: 債務問題と破産
- 7: 日本の福祉貸付制度
- 8: 家計収入の非準化はやりくりを難しくする
- 9: 災害援護資金貸付

◆ 編著者紹介

小関隆志(こせき・たかし)

明治大学経営学部 教授。博士(社会学)。専門はソーシャル・ファイナンス論、NPO 経営論。主著に『金融によるコミュニティ・エンパワメント』(ミネルヴァ書房、2011年)、『フードバンク』(共著、明石書店、2018年)。

明石書店 TEL.03-5818-1171

FAX.03-5818-1174

〒101-0021 東京都千代田区外神田6-9-5

図書目録送呈 <http://www.akashi.co.jp/>

ご注文方法

- ◎最寄りの書店へ、このチラシをご持参の上、ご注文ください。
- ◎直送ご希望の方は、電話またはFAXで弊社へお申し込みください。代金引き替え郵便でお送りします。代金は配達の方にお支払いください。書籍代(本体価格+消費税)に加え、送料として一律300円がかかります。

生活困窮と金融排除

生活相談・貸付事業と家計改善の可能性

小関隆志 編著

ISBN978-4-7503-5057-8

●本体価格2,700円+税

フリガナ

お名前

TEL

ご住所 〒

冊

明石書店

TEL 03-5818-1171

FAX 03-5818-1174